

「笑って動いて元気を出して」
70歳になってから「笑いヨガ」
講師になった福井市北四ツ居2
自の平林幸二さん(74)が、公民
館に介護施設で活動している。コ
ナ禍で体を動かす機会が減る中
「ストレスを解消し免疫力を上
げて、コロナに負けないでほしい」

木さん精力的

と、数分で体が温まり表情もほぐ
れて自然に笑顔になっていた。
県の食育リーダーの認定も受け
ている平林さんは「健康には食事も
大事」と体操の合間に食生活に
ついてアドバイス。3年前から
教室に参加しているという宇戸尚
さん(74)は「落ち込むことが多か
ったが家でもよく笑つよつになっ



さくらこども園入選

ソニー教育支援プログラム

遊びに科学 発想大切に

福井市のさくら認定こども園が、子どもの「科学
する心を育てる」保育の実践をまとめた論文を募集
するソニー教育財団の本年度「ソニー幼児教育支援
プログラム」で奨励園の一つに選ばれた。子どもの
発想や主体性を大切にしたい体験活動などが評価され
た。

(武居哲)

同プログラムは毎年、全
国の幼稚園や保育園などか
ら論文を募り、助成を行っ
ている。本年度は計155
園の応募があり計75園が入
選した。

さくら認定こども園は2
015年度から年代ごとに
テーマを設け、運動会や課
外活動などに取り組んでい
る。本年度まとめた論文「海
プロジェクト」は、18年度

の3歳児を対象に4年間の
活動を記録。公園で木の枝
を釣りざおに見立てた魚釣
り遊びを行い、「水」に興
味が湧いた園児は、県内水
面センターや水族館の見
学、絵本や専門家の講演な
どを通して理解を深めた。
川や海にフィールドが広
がり、楽しみながら科学を
身近に学べる教育へと発
展。5歳児時には、海の生
きものや川の流れの仕組み



3年間の「海プロジェクト」の成果を発表する園児＝2021年3月、福井市文京1丁目のさくら認定こども園

秒動画に



福井PR動画の一場面

認知症支える環境
講演で理解深めて
来月、オンラインも
認知症の人やその家族を
支える取り組みについて理
解を深めてもらう講演会が
2月5日、福井市の県国際

など自分たちが調べたいテ
ーマを園児がまとめて発表
会も開いた。
こうした実践を同財団は
「多岐にわたる展開で、子
ども一人一人の主体性を大
切にされていることが伝わ

る」と評価した。
伊藤仁美教頭は「主体的
な保育活動の成果が認め
られたことは励みになる。
今度も取り組みを発展さ
せていきたい」と話してい
る。

東京・練馬区で若年性認
知症の本人と家族の会を立
ち上げた、立教大の田中悠
美子助教が「誰もがケアを
する時代」と題して講演。
子ども世代のつどいの運営
メンバーも登壇する。トー
クリレーでは県内家族会に
参加する4組が自身の体験